

令和6年12月1日(日)に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座～多様な世代が関わる町内会活動～」を開催しました。講座には24名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについて講義を聴いたのち、グループに分かれて「多様な世代が関わる町内会運営に向けてできること」をテーマとしたワークショップを行いました。

「開催概要」

日 時：令和6年12月1日(日) 10:00～12:00
場 所：青葉区役所7階第1会議室 参加者：24名
内 容：講義／ワークショップ／発表・まとめ



■ 講義

講師の(株)KITABA 酒本宏氏から、町内会の現状と課題から令和の町内会運のヒントとして、多世代が関わる町内会運営に向けた情報発信や若い世代のアイデアを取り入れたイベントの実施など、効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、6グループに分かれ、「多様な世代が関わる町内会運営に向けてできること」を「参加のきっかけ」「若い世代と取り組む活動」「多世代が参加しやすい仕組み」の3点から考えました。※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

●若い世代の参加のきっかけをつくる

- ・ 夏祭り・秋祭りを復活させ、企画段階から若い世代の参画を促進する
- ・ こども向けのクリスマス会やハロウィンイベントを定期的で開催する
- ・ 芋煮会や運動会を通じて、若年層と高齢者の交流の機会を創出する
- ・ 集会所を中学生・高校生の学習スペースとして開放し、利用を促進する

●若い世代が参加しやすい活動を行う

- ・ 子育てサロンを定期的で開催し、子育て世代の交流を支援する
- ・ フリーマーケットを開催し、若い世代の参加機会を創出する
- ・ 子育て世代の負担を考慮した活動計画を立案・実施する
- ・ 若手役員の登用を積極的に進め、組織の新陳代謝を図る

●デジタル化とコミュニケーションを強化する

- ・ LINEなどのSNSを活用し、効果的な情報発信を実施する
- ・ 町内会活動の広報をデジタル媒体でも展開する
- ・ 役員間の連絡手段としてグループLINEを活用し、情報共有を円滑化する

●地域住民に求められる町内会活動の実施

- ・ 公園清掃や花壇の管理を定期的を実施し、環境美化を推進する
- ・ 集団資源回収活動を通じて、地域貢献と収益確保を両立させる
- ・ 防災訓練を定期的を実施し、地域の防災意識を高める
- ・ 班長会議の活性化を図り、きめ細かな地域運営を実現する

グループごとの意見・アイデア

「多様な世代が関わる町内会運営に向けてできること」については、若い世代が参加するためのきっかけづくりのアイデアが挙げられました。クリスマス会のような子どもたちが参加しやすい取組の実施や学校との連携、既存の活動を若い世代も参加しやすいように見直してみるというような意見がありました。また、SNSなどを活用し、若い世代に届く情報発信に取り組むという意見もありました。

グループ 1

- ・ 町内の農家と一緒に月に1回販売会を行うことで、若い世代の参加のきっかけとする
- ・ 集会所の中学生・高校生の利用推進をする
- ・ 夏祭りを復活させて、多世代交流の場とする

グループ 2

- ・ 顔の見える「班長会」を行う
- ・ 高齢者向けにやっている活動を子どもや若い世代を対象に実施する
- ・ イベントの出席者の連絡先を聞いて情報共有する
- ・ LINEグループを使った情報共有をする

グループ 3

- ・ まず「クリスマス会」をやってみる
- ・ 地元の小・中学校と連携するとよいのではないか
- ・ こどもの保護者と連携した交流促進、防災関連での勉強会を実施する

グループ 4

- ・ 清掃活動をきっかけとして若い世代が参加してもらえるようにしたい
- ・ 運動会やレクリエーションを行う
- ・ 集団資源回収を行う

グループ 5

- ・ 年齢を問わず、孤独を感じる人はいるので、民生委員と協力し、把握に努めたい
- ・ 多世代とイベントの運営を一緒に行う
- ・ 役員が能力を発揮できるよう、適材適所を見極める

グループ 6

- ・ 夏祭りなど子育て世代が参加できるイベントを企画する
- ・ 集会所を無料開放してコミュニティの場を確保する
- ・ 清掃活動や消毒作業を行う

